

登録コード	ASP01500	開講年度	2026				
授業科目	緑地環境評価学特論					担当教員	大窪 久美子
英文授業名	Advanced Lecture in Landscape Ecology and Environment					副担当	鈴木 純
単位数	2	講義期間	後期(後半)	曜日・時限	月曜・1時限 月曜・2時限 月曜・3時限 月曜・4時限 月曜・5時限	対象学生	修士1年
講義室	農学部 2 2 番講義室			授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2026ASカリ，2025ASカリ，2024ASカリ，2023ASカリ						
	【専攻】生命科学，食品科学，食料生産および環境の保全と修復などの分野における幅広い体系的な基礎学力と実践的技術力とともに高い研究開発能力を修得している。					⇔	緑地環境の課題について専門的な理解を深め、議論ができるようになる。
授業の概要	本特論は中山間地及び地方都市において多機能を有する緑地環境（自然公園、農山村、都市公園、市街地等を含む）を対象に、応用生態学、動物行動学、農業気象学等に関する現状と課題を理解するため、国内外はもとより各地の事例をもとにして実態を説明するとともに、課題を深く考察し解決方法を考える能力を養う。						
Contents:	Applied ecology and Wildlife management, Agricultural meteorology						
授業計画	第1回（11/26）：本特論の目的と概要説明（担当 大窪） 第2回（11/26）：海外における生物多様性保全の現状と課題（担当 大窪） 第3回（11/26）：日本および地域における生物多様性保全の現状と課題（担当 大窪） 第4回（11/26）：原生的自然における植物に関する生物多様性保全の現状と課題（担当 大窪） 第5回（11/26）：二次的自然における植物に関する生物多様性保全の地域の現状と課題（担当 大窪） 第6回（11/30）：海外における野生動物の保護管理に関する現状と課題（担当 泉山） 第7回（11/30）：東アジアにおける野生動物の保護管理に関する現状と課題（担当 泉山） 第8回（11/30）：日本における野生動物の保護管理に関する現状と課題（担当 泉山） 第9回（11/30）：地域における野生動物の保護管理に関する現状と課題（担当 泉山） 第10回（11/30）：野生動物の保護管理に関する調査研究の現状と課題（担当 泉山） 第11回（12/7）：海外における農山村の気象環境に関する現状と課題（担当 鈴木） 第12回（12/7）：東アジアにおける農山村の気象環境に関する現状と課題（担当 鈴木） 第13回（12/7）：日本における農山村の気象環境に関する現状と課題（担当 鈴木） 第14回（12/7）：地域における農山村の気象環境に関する現状と課題（担当 鈴木） 第15回（12/7）：農山村の気象環境に関する調査研究の現状と課題（担当 鈴木） 各担当教員からレポート課題を出します。						
成績評価の方法	特論への受講態度とレポートにより総合的に評価する。						
成績評価の基準	各教員の課題を総合的に評価する。秀：90点以上、優：80～89点、良：70～79点、可：60～69点、不可：59点以下とする。						
事前事後学習の内容	講義資料を活用し、講義後においてノートの整理を行ってください。関連する文献も検索し、読み込むことを勧めます。						
履修上の注意	開講は後期の9～11週の月曜3日間です。 あらかじめ日程を確認してください。						
質問,相談への対応	随時対応するので、連絡してください。						
学生へのメッセージ	自主的な学習を応援しますので、質問等を積極的に行ってください。						
【教科書】	特になし						
【参考書】	随時、講義の際に紹介する						